



オーストリア

パン食で陥りやすい塩分の過剰摂取

- オーバーエスターライヒ労働者会議所ホームページ https://ooe.arbeiterkammer.at/service/testsundpreisvergleiche/tests/Brot_ist_zu_salzig.html
- オーストリア食品典 <http://www.lebensmittelbuch.at/b-18-backerzeugnisse/backwaren/brot/mischbrot/>

オーストリアの一日は、焼き立てのパンとコーヒーで始まる。早朝から開いているパン専門店で、ゼンメル(Semmel)と呼ばれる小型で丸い白パンを購入し、バターやジャムを塗って食べるのが定番である。しかし、朝食以外では、小麦粉とライ麦粉の混合パンであるミッシュブロット(Mischbrot)を常食する人が多い。オーストリア食品典によると、両者の配合割合によって、「ライ麦混合パン」または「小麦混合パン」と表示でき、また、混合パンは、「黒パン」「ハウスパン」とも呼ばれる。

そこで、オーバーエスターライヒ労働者会議所は、混合パンの塩分を調べることにした。リンツ周辺のパン専門店およびスーパーで販売される16商品を購入し、AGES(オーストリア保健・食品安全局)にテストを委託した。スーパーでの購入品の中には、

大量生産された袋詰め商品のほか、店内で焼いたインスタ・ベーカリー商品も含まれていた。

その結果、平均値は100g当たり1.57gで、10商品が高塩分、残り6商品が中程度の塩分量だったという。同機関は、100g当たりの塩分が1.5gを超えると高塩分としている。ドイツ栄養協会の食塩推奨摂取量は1日6g以下であることから、テストした混合パンを4切れ(200g)食べただけで、既に41～64%に達すると指摘する。

塩分の取り過ぎを防ぐためには、栄養成分表示に注意することが重要だが、パン専門店およびインスタ・ベーカリーの無包装商品には表示義務がない。そこで、塩分量については、店に問い合わせるよう助言する。また、塩味に慣れている人は、徐々に塩分の少ないパンに切り換えるよう勧めている。



スイス

忍者になって食品ロスを撃退

- PUSCHホームページ <https://www.pusch.ch/kampagne-save-food-fight-waste/>
- スイス消費者保護財団ホームページ <https://www.konsumentenschutz.ch/themen/lebensmittelabfall/mit-der-food-ninja-gegen-food-waste/>

スイスでは、まだ食べられる食品の3分の1が捨てられ、家庭の食品ロスだけでも、1人当たり年間約90kgになるという。食品ロスはお金の無駄遣いであるばかりでなく、環境へのダメージも大きい。そこで、連邦、州、自治体、事業者、消費者団体など約70団体が連携し、食品ロス削減キャンペーンを開始した。期間は2019年11月から3年間で、環境教育に実績のあるPUSCH(スイス環境保護実践財団)が活動を主導する。

同キャンペーンの関連サイトで目を引くのが、忍者に扮した男女7名である。武器に頼らず、知恵を絞って勇敢に職務を果たす日本の忍者のイメージに倣ったという。彼らは「フード忍者(Food Ninja)」と名乗り、女忍者Grosiがリーダーを務める。食品ロス削減のヒントを提供するとともに、消費者自身

にもフード忍者となるよう勧める。最初の一步としてサイト上に用意されているのが、「フード忍者テスト」である。合理的な買い物の仕方や、食品を無駄なく使い切るための知識、やむを得ず廃棄する際の方法等を確認できる。より深く学びたい人は、「忍者アカデミー」にネット登録してトレーニングを受ける方法もある。2種類の単位習得速度から選択できる。

フード忍者の教えは、捨てないで食べようという単純なもの。賞味期限を過ぎただけで食品を捨てるなど論外で、自身の五感を使って、まだ食べられるのか吟味する大切さを説く。まずは食品を買い過ぎないことが重要だとしながら、余った食材、古くなりかけた食材を使ってレシピを生み出す想像力、インスピレーションが大事だと強調する。



イギリス

NHSの駐車場問題

● Which? ホームページ <https://www.which.co.uk/news/2019/12/sick-pay-hospital-parking-charges-rise-by-10-in-one-year/> (ほか)

イギリスの国営医療制度であるNHS(国民保健サービス)では、慢性的な財源難により医師やベッドが不足しているが、基本的には全国民と滞在中の外国人(条件付き)が無料(薬代別)で医療サービスを受けられる。しかし、病院の駐車場は有料だ。

このほど、駐車場収益の2018年度総額が前年度比10%増、史上最高の2億5400万ポンド(約371億円)、時間超過の罰金収益が150万ポンド(約2億2000万円)に上ることが判明した。これには病院スタッフが払った金額も含まれる。

Which? が会員約7,900人に調査したところ、約半数が駐車場は無料にすべきと回答。さらに、駐車スペースが見つからない、病院から遠過ぎて診察予約に間に合わない、支払い方法が分かりにくいなど、回答者の約9割が不満に思っていた。NHSの駐車場

問題は総選挙でも争点の1つであった。スコットランドとウェールズでは2008年に無料化されたが、最近では駐車場の縮小が懸念されている。

患者の擁護団体は、駐車場収益が患者ケアには使われず、委託された民間の運営会社の収益になる場合もあり問題だという。罰金を徴収された5人に1人は診察時間の遅れなどの理由だったが、病院ごとに異なる複雑な支払いシステムのため反論も困難であったという。NHSのガイドラインには●料金等を駐車場入り口、病院内などに明示●障がい者、頻繁な外来受診等の患者や家族などは減免●後払い方式の検討●正当な理由の時間超過は免除、などが記載されているが、各病院の足並みがそろわないのが現状だ。Which?では、相談は病院の患者助言サービス(PALS)の利用を勧めている。



アメリカ

ライドシェア配車サービスを安全に利用する

● CR: ホームページ <https://www.consumerreports.org/ride-hailing/staying-safe-when-using-ride-hailing-services/>
<https://www.consumerreports.org/ride-hailing/uber-and-lyft-cars-have-open-safety-recalls/>
 ● Uber: ホームページ <https://www.uber.com/us/en/about/reports/us-safety-report/> (ほか)

スマホアプリでライドシェアサービスを展開する世界最大の企業が、2019年に創業10年にして初めて、過去2年間にサービス利用中に発生した事故件数などをまとめた報告書を公表した。それによると、97件の致命的な衝突事故で107人が死亡、暴行により19人が死亡した。同社の契約車は1日合計500万km走行しており、走行距離当たりの事故死者数は全国平均の約半数で安全だと主張する。しかし、対策を講じるべきだとCR(コンシューマーレポート)は批判している。レイプ被害464人を含む5,981人の性暴力被害があったことについては、同社は緊急通報ボタンをアプリに追加するほか、ドライバー教育も行うとした。

CRでは安全な利用のため、●ドライバーに誰を迎えに来たか言わせる(ナンバープレート等は偽造

のものかもしれない)●襲われにくいドライバーの真後ろに座る●シートベルトを着用する●ドアのチャイルドロックを解除しておく(逃げるため)●携帯電話は充電しておく、などを助言している。

また、CRが2019年1月にニューヨーク市とシアトル市周辺地域のライドシェア契約車約94,000台を調査したところ、6台に1台の割合で公開リコール箇所の未修理があると判明した。エンジンやエアバッグの不具合など非常に危険な車や、2007年以前製造の古い車もあった。個人の車を使うため、リコール対応やメンテナンスはドライバー任せで責任を放棄しているとCRは批判し改善を強く求めている。消費者には自動車履歴調査会社のサービス等を活用して事故歴、整備履歴などを確認するよう勧めている。